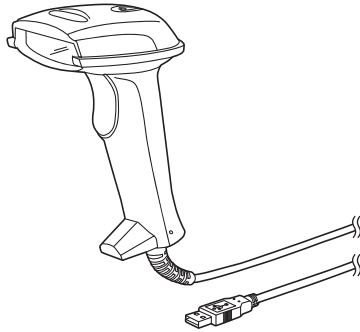


2次元コードリーダー (ハンディタイプ・日本語QR対応) 取扱説明書



この度は、2次元コードリーダー(ハンディタイプ・日本語QR対応)「**BCR-2DJP4BK**」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①コードリーダー 1台 ③取扱説明書・保証書(本書) 1部
 - ②接続ケーブル 1本
- ※欠品や破損があった場合は、品番(BCR-2DJP4BK)と上記の番号(①~③)と名称(接続ケーブルなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

- 本製品スキャン部の光を肉眼で見たり、他人の顔あるいは目に向けて照射したりしないでください。
- 本製品とパソコンは、USBハブなどを介さず直接接続してください。
- 直接日光が長時間あたる場所、粉塵の多い場所、湿気が多い場所、油煙や湯気のあたる場所、急激な温度変化のある場所など発熱物の近くでは、使用・保管しないでください。
- ケーブルを無理に引っ張ったりねじったり、ケーブルを持って持ち運んだりしないでください。
- 濡れた手で取扱わないでください。
- 長期的な振動や、落下等の強いショックを与えないでください。
- ケーブル類は、できるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。ノイズや故障等の原因になります。
- 本製品のスキャン部を傷つけないようにしてください。また、水・油・ホコリなどを付着させないでください。
- シンナー・ベンジンなどの溶剤で拭いたりしないでください。
- 故障・破損したままで使用しないでください。
- 本製品を分解修理しないでください。故障と思われる場合は弊社までご連絡ください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。

ご注意

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。

1.特長

- 日本語QRの読み取りに対応しています。
- 1次元、2次元どちらのコードも読み取り可能です。
- IP42の防水防塵に対応しています。
- 1.5mからの落下に耐えられる衝撃性能を持っています。

2.対応機種・対応OS

■ 対応機種

- Windows搭載(DOS/V)パソコン

■ 対応OS

- Windows 10・8.1・8・7

※機種により対応できないものもあります。

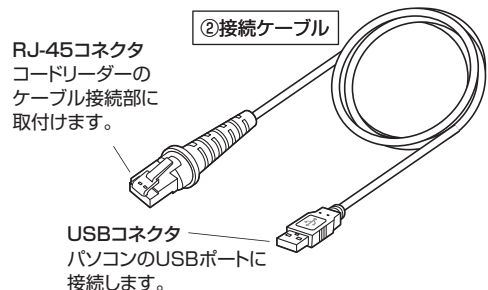
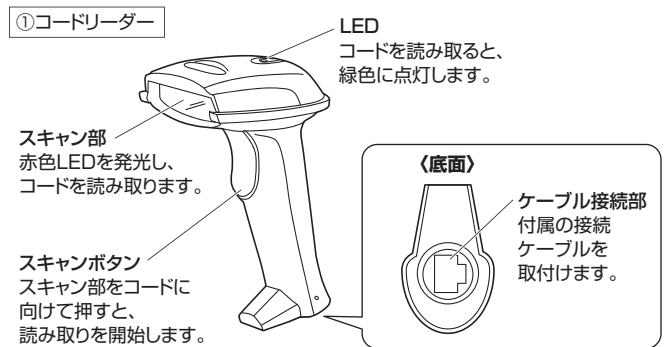
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

3.仕様

インターフェース	USB
コード種類	1D UPC-A、UPC-E、EAN-8、EAN-13、Code 128、GS1-128、Code 39、Code 32、Code 93、Code 11、Codabar(NW-7)、Interleaved 2 of 5、Matrix 2 of 5、MSI、GS1 Databar、GS1 Composite
	2D QR Code、Data Matrix、PDF417、Maxicode、Aztec
P C S 値	≥30%
読取深度	4mil Code 39/30mm~80mm
	5mil Code 39/30mm~100mm
	13mil UPC-A/35mm~220mm
	20mil Code 39/55mm~300mm
	6.67mil PDF417/15mm~145mm 10mil DataMatrix/23mm~130mm 20mil QR Code/5mm~265mm
光源	赤色LED
走査速度	30frame/sec
消費電流	220mAh
環境	動作温度/−10℃~50℃、湿度/5%~95%(結露なきこと)
	保存温度/−20℃~60℃、湿度/5%~95%(結露なきこと)
耐衝撃	1.5m
防水性能	IP42
サイズ・重量	W90×D65×H165mm・約110g

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

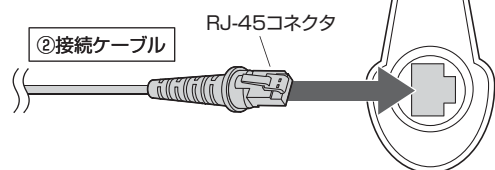
4.各部の名称とはたらき



5.ご使用前に

1.コードリーダーにケーブルを取付ける

コードリーダー底面のケーブル接続部に形を合わせて
付属の接続ケーブルを取付けてください。



2.本製品をパソコンと接続する

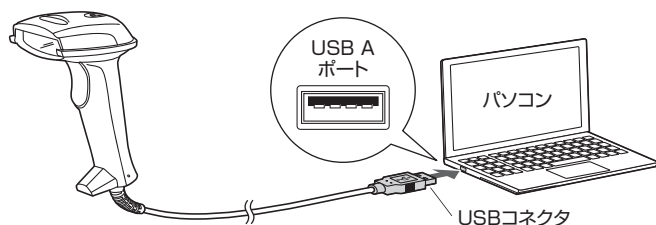
本製品はパソコンと接続すると電源がONになります。

接続する前に

- ❗ パソコン上のアプリケーション(ウイルス検知ソフトの常駐ファイルなど)を終了させておくことをおすすめします。

- 1 パソコンの電源を入れ、完全に起動させてください。
- 2 接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSB Aポートに接続してください。

- ❗ USBコネクタには上下がありますので、USBポートの上下を確認して接続してください。

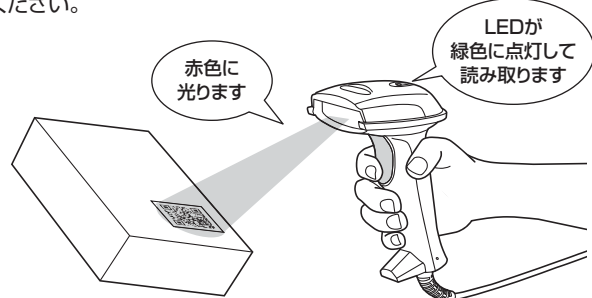


- 3 自動的にハードウェアの検知が始まります。インストール作業中は、本製品を操作しないでください。
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。
※OSなどによりインストールの表示が出ない場合があります。
- 4 ビープ音が鳴り(初期設定)、パソコンとの接続が完了します。

- ❗ ビープ音が鳴り接続が完了するまで、本製品を操作したりUSBコネクタを抜き差ししたりしないでください。

6.コードの読み取り方法

- 1 本製品をパソコンに接続し(「5.ご使用前に」参照)、パソコンでExcelなどを起動してください。
- 2 スキャン部をコードに向けてスキャンボタンを押してください。
赤色LEDが照射されてビープ音が鳴り(初期設定)、コードが読み取られます。
※LEDが緑色に点灯して読み取られるまでスキャンボタンを押し続けてください。



- 3 コードのデータがパソコンへ転送されます。
①で起動したアプリケーションに読み込んだコードの内容が表示されるので確認してください。

例) 13桁JANコードを読み込んだ場合

4969887123456

4969887123457

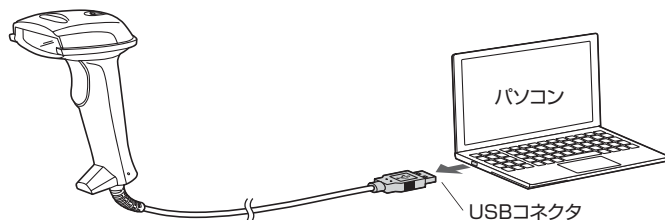
⋮

- ❗ ①のソフトの起動は、スキャンデータが送信できているかを確認するためです。

7.ご使用後は

本製品をパソコンから取外す

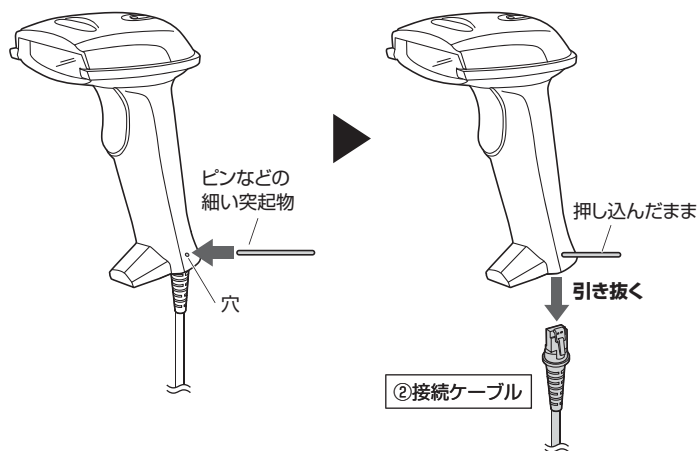
本製品はパソコンから取外すと電源がOFFになります。
長期間使用しない場合は接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンから抜いてください。



接続ケーブルをコードリーダーから取外す

収納する際は接続ケーブルを取外してください。コードリーダーの側面の穴にピンなどの細い突起物を差し込み、ピンを押し込んだまま、接続ケーブルを引き抜いてください。

- ❗ ピンなどの細い突起物は穴にまっすぐ差し込んでください。



8.設定コード一覧

本製品は以下の専用のバーコードを読み取ることで、様々な設定を変更できます。

初期設定に戻す

本製品の設定を販売時の状態(初期設定)に戻します。



キーボード設定

■ 日本語キーボードに設定する



■ 英語キーボードに設定する(初期設定)



音の設定

ビープ音、読み取り音などの全ての音のON・OFF設定ができます。

■ 全ての音を鳴らさない



■ 全ての音を鳴らす(初期設定)



接続時の音(起動音)の設定

パソコンと接続した際に鳴る起動音のON・OFFを設定できます。

❗ 「音の設定」で全ての音を鳴らさない設定にしていると、起動音を鳴らす設定にしても鳴りません。

■ 起動音を鳴らさない



■ 起動音を鳴らす(初期設定)



読み取り音の音量設定

コードを読み込んだ際に鳴る読み取り音の音量設定ができます。

❗ 「音の設定」で全ての音を鳴らさない設定にしていると、読み取り音は鳴りません。

■ 小さい音にする



■ 中間の音にする



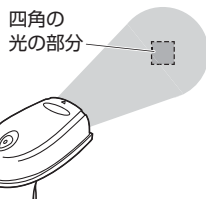
■ 大きい音にする(初期設定)



8.設定コード一覧(続き)

センターモード設定

センターモードを有効にするとコードの読み取り範囲がセンター(四角の光の部分)のみになります。無効だとコードがセンター(四角の光の部分)に入っていないでも読み取ることができます。複数のコードが密集している場合、センターモードを有効にすることで狙ったコードだけを読み取ることができます。以下のコードを読み込むことで設定を変更できます。



❗ センターモードと読み取り照明設定のどちらも無効にすると何も照射なくなります。

■ センターモードを無効にする



■ センターモードを有効にする(初期設定)



読み取り照明設定

読み取り照明を有効にするとコードの読み取り範囲が赤色LEDで丸く照射されます。無効にすると丸い赤色LEDを消灯することができます。以下のコードを読み込むことで設定を変更できます。



❗ センターモードと読み取り照明設定のどちらも無効にすると何も照射なくなります。

■ 読み取り照明を無効にする



■ 読み取り照明を有効にする(初期設定)



データのエンコード形式の設定

Excel、Word、メモ帳などでコードを確認中、日本語が含まれるコードを読み取ると文字化けする場合があります。その場合は下記のコードを(1)→(2)→(3)の順で読み込み、エンコードの設定を変更してください。

■ Excel、メモ帳で文字化けする場合 ※それ以外はソフトによっては対応しない場合があります。

エンコードをSHIFT-JISに設定します。

(1)



(2)



(3)



■ Wordで文字化けする場合 ※それ以外はソフトによっては対応しない場合があります。

エンコードをUTF-8に設定します。

(1)



(2)



(3)



エンコードをSHIFT-JISに設定します。

(1)



(2)



(3)



9.読み取り可能コードの設定

読み取りコードをコードごとに読み取り可、読み取り不可に設定することができます。

全1次元コード ※「3.仕様」に表記してある「コード種類」に限ります。

■ 読み取り可



■ 読み取り不可



全2次元コード ※「3.仕様」に表記してある「コード種類」に限ります。

■ 読み取り可



■ 読み取り不可



UPC-A

■ 読み取り可 (初期設定)



■ 読み取り不可



UPC-E

■ 読み取り可 (初期設定)



■ 読み取り不可



EAN-8

■ 読み取り可 (初期設定)



■ 読み取り不可



EAN-13

■ 読み取り可 (初期設定)



■ 読み取り不可



9.読み取り可能コードの設定(続き)

Code 128

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



GS1-128

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Code 39

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可

Code39を読み取り不可にするとCode32とCode93のコードにも反応しなくなります。



Code 32

■ 読み取り可

Code32を読み込み可にするにはCode39を読み込み可の状態にしておく必要があります。まずCode39の読み取り可のコードを読み込み、Code32の読み込み可のコードを読み込みます。

Code39
読み取り可コード



Code32
読み取り可コード



■ 読み取り不可(初期設定)



Code39を「読み取り可」の場合、Code32を「読み取り不可」にしてもCode32の読み取りが可能ですが、異なった内容が出力されます。



Code 93

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



9.読み取り可能コードの設定(続き)

Code 11

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



Codabar (NW-7)

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



Interleaved 2 of 5

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



MSI

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



Matrix 2 of 5

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



QR Code

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



9.読み取り可能コードの設定(続き)

Data Matrix

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



PDF 417

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Aztec Code

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



MaxiCode

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



10.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

サンワサプライ株式会社

型番: **BCR-2DJP4BK**

シリアルナンバー:

お客様・お名前・ご住所・TEL

販売店名・住所・TEL

担当者名

保証期間 6ヶ月

お買い上げ年月日 年 月 日

最新の情報はWEBサイトで <https://www.sanwa.co.jp/>



本製品の詳細情報はこちら!

スマホで読み込むだけで簡単にアクセス!



弊社サポートページはこちら!

■サポート情報 ■ソフトダウンロード
■各種対応表 ■Q&A(よくある質問)
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 バストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区福岡1-6-37 TM仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区権町16-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区富原4-5-36 ONEST新大阪スクエア TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078